

I 事業の概況

1 経営環境及び業界の状況

当期における我が国の経済は、世界的な景気後退が続く中で、内需、外需とも厳しい状況下であり、さらにデフレーション化が悪循環をもたらし、雇用情勢においても一段と厳しさが増す一方、景気悪化が地域格差をさらに増幅させたところです。

航空業界におきましても、景気後退により国内航空会社の経営を逼迫し、大幅な人員削減やコスト削減はもとより、さらなる不採算路線の廃止や減便、さらには地方空港からの撤退といった今までにない経営改革が断行されたところです。いわて花巻空港におきましても平成22年5月連休明けより、花巻－中部国際空港間の運行休止が決定するなど、地方空港の経営環境は一段と厳しい状況となっております。

こうした状況の中、当期における「いわて花巻空港」の国内定期便の乗降客実績は356,087人で、対前年比2.1%、7,400人の増加となりました。また、チャーター便につきましては、台湾等からの乗り入れ便が71便となり、国内・国際合計で87便、10,813人で、1,688人の減少となっております。

(1) 定期便

路線	乗降客数	前年比	利用率
大 阪	150,994 人	100.0%	55.5%
札 幌	105,910	102.5	56.3
名 古 屋	99,183	105.1	48.5
計	356,087	102.1	53.6

(2) チャーター便

(便数は片道ベース)

区分	便数	乗降客数	前年比	備考
国内線	16	1,494	2便増 65.7%	沖縄・中国・九州地方
国際線	71	9,319	9便減 91.1%	台湾・韓国・中国
計	87	10,813	7便減 86.5%	

2 事業の経過及びその成果

当期の事業収支状況につきましては、営業収益は 355,635 千円、営業費用は 306,418 千円で、営業利益は 49,217 千円（前期比 26.3%減）となりました。

これに営業外損益を加減した経常利益は 28,916 千円（前期比 52.8%減）で、今年度計上した特別利益 792,775 千円を加算後、特別損失 1,209,498 千円及び法人税等を差し引いた当期純利益は△390,973 千円となりました。

主な要因は、収入面で直営売店の売上収入等が増となったものの、費用面では新旅客ターミナルビル供用開始に伴う経費支出の増が挙げられます。

科 目	金 額	前 期 比
施設賃貸収入	238,884 千円	△ 11.2%
商品売上高	43,897	51.0
広告料収入	16,273	92.3
給油施設収入	15,347	30.8
貨物ビル施設収入	8,975	皆増
その他収入	32,259	131.3
計	355,635 千円	7.1%
売上原価	32,325	67.8
販売費及び一般管理費	274,093	11.4
計	306,418 千円	15.5%

3 今後の見通しと対応

いわて花巻空港におきましては、平成21年4月9日に新旅客ターミナルビルを供用開始し、ハード、ソフトとも充実した環境が整い、どなたでも快適にご利用いただける施設に生まれ変わったところでもあります。また、県内外の方々に対して、いわて花巻空港をより周知いただくため、ホームページの充実を図るとともに、いわて花巻空港のイメージキャラクター（はなっぴー）やイメージソング（松任谷由実氏、「緑の町に舞い降りて」）を採用しPRするとともに空港内におけるイベント開催を恒常化し誘客に努めてまいりました。

しかし、地方空港を取り巻く環境は一段と厳しさを増していることから、今後はさらに官民一体となった利用促進を図り、航空需要の掘り起こしに努めてまいりたいと考えています。また、今後、継続して見込まれている国際チャーター便へのさらなる適切な受け入れ態勢を整えるべく、県事業による

国際線用ビル機能向上工事が開始されることから、平成 23 年 7 月の供用開始に向けて一体的に協力をして参ります。

今後も、お客様へのより一層のサービス充実に努めることはもとより、地域の方々にも気軽に足を運んで頂ける魅力ある施設づくりに取り組んで参りますので、株主の皆様方におかれましては、引き続きご指導をいただきますとともに、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

4 旧旅客ターミナルビルの処分について

旧旅客ターミナルビルには、平成 21 年 10 月 1 日に花巻市との譲渡契約締結合意のもとに無償譲渡をおこなったところです。つきましては、平成 21 年 9 月末日現在における旧ビルの固定資産残存簿価 393,931 千円を今期特別損失に計上し除却いたしました。

5 営業成績及び財産状況の推移

(単位:円)

区 分	第 26 期 平成 18 年度	第 27 期 平成 19 年度	第 28 期 平成 20 年度	第 29 期 平成 21 年度
営業収益	338,723,291	340,579,558	332,090,399	355,634,565
当期純利益	59,018,437	18,362,440	44,978,999	△390,973,243
1 株当たり 当期純利益	1,736	540	1,323	△11,499
総 資 産	1,230,530,225	1,278,305,743	2,983,482,690	1,601,330,836

II 会社の現況

1 主要な事業内容

- (1) 空港ターミナルビルの賃貸及び運営管理
- (2) 航空旅客、航空貨物及び航空事業者に対する役務の提供
- (3) 飲食物、旅行用日用雑貨及び観光土産品の販売業
- (4) 広告業及び宣伝及び広告代理店業

2 事業所（本社所在地）

岩手県花巻市東宮野目第二地割 53 番地

3 株式の状況

- (1) 会社の発行可能株式総数 136,000 株
- (2) 期末現在発行済株式総数 34,000 株（記名株式）
- (3) 期末現在株主総数 11 名
- (4) 大株主

株 主 名	持 株 数	議決権比率	当社当該株主への出資状況	
			持 株 数	議決権比率
岩 手 県	10,000 株	29.4%	— 株	— %
株式会社日本航空インターナショナル	10,000	29.4	0	0
花 巻 市	4,000	11.8	—	—
盛 岡 市	2,500	7.4	—	—
株式会社岩手銀行	1,500	4.4	0	0
株式会社日本政策投資銀行	1,500	4.4	0	0
日本通運株式会社	1,200	3.5	0	0

4 取締役及び監査役

(平成 22 年 3 月 31 日現在)

役 職 名	氏 名	担当または主な職業
代表取締役社長	阿 部 健	常 勤
取 締 役	佐 藤 文 夫	岩手県県土整備部長
取 締 役	小 谷 学	株式会社日本航空インターナショナル盛岡支店長
取 締 役	大 石 満 雄	花巻市長
取 締 役	谷 藤 裕 明	盛岡市長
取 締 役	富 松 利 典	日本通運株式会社仙台航空支店長
取 締 役	佐 藤 昭 雄	常 勤 総務部長
監 査 役	永 野 勝 美	株式会社岩手銀行特別常任相談役
監 査 役	伊 藤 敬 幹	株式会社日本政策投資銀行東北支店長

(注) 当期中の取締役及び監査役の異動

- 平成 21 年 6 月 26 日開催の第 28 回定時株主総会において、山口敬史が取締役を退任し、富松利典が取締役に就任いたしました。
- 退任取締役は次の 3 名であります。
平成 22 年 3 月 31 日辞任 取締役 佐藤 文夫、 取締役 小谷 学、 取締役 佐藤 昭雄
- 退任監査役は次の 1 名であります。
平成 22 年 3 月 31 日辞任 監査役 伊藤 敬幹

5 従業員の状況

(平成 22 年 3 月 31 日現在)

区 分	従業員数	対前年比較	平均年齢	平均勤続年数
男	6 名	0 名	47.7 歳	18.7 年
女	5	0	38.6	16.2
合計又は平均	11	0	43.5	17.5

(注) 嘱託社員を含み、臨時社員を除きます。

6 主要な借入先及び借入金額

(平成 22 年 3 月 31 日現在)

借 入 先	借 入 金 残 高
株式会社 日本政策投資銀行	331,250,000円
株式会社 岩 手 銀 行	168,856,000円
株式会社 北 日 本 銀 行	101,318,000円
株式会社 東 北 銀 行	67,542,000円
計	668,966,000円